

【コンクリート舗装に関する技術資料】

【A4判 70頁 本体価格 1,500円】

平成21年8月5日初版第1刷発行

平成29年6月28日 第4刷発行

第1章	技術資料作成の背景	1
第2章	現 状	2
第3章	課 題	4
3-1	コンクリート舗装が使われなくなった原因	4
3-2	課題に対応した技術	5
3-3	解決すべき課題とその方策	6
第4章	長 所	7
4-1	寿命が長い	7
4-2	ライフサイクルコストが安い	9
4-3	環境に優しい	13
4-4	材料の安定供給が可能	14
4-5	明色性	14
第5章	舗装種別	15
第6章	推奨適用箇所	16
6-1	高規格幹線道路および都市間主要道路	17
6-2	トンネル	19
6-3	軽交通道路	21
6-4	交差点	23
第7章	構造設計	26
7-1	設計の考え方	26
7-2	構造解析	27
7-3	疲労解析	29
7-4	路盤の設計	29
7-5	照 査	30
7-6	設計例（設計寿命20年とした：技術基準より）	30
第8章	施 工	33
8-1	施工計画	33

8-2	標準的なコンクリート版の施工方法	35
8-2-1	コンクリート版の施工機械	35
8-2-2	コンクリート版の機械編成	38
8-2-3	施工方法	41
8-2-4	人力による施工	47
8-2-5	養生の重要性	48
8-2-6	初期ひび割れ対策	48
第9章	管理と補修	50
9-1	日常的な管理	50
9-2	破損の種類と原因	51
9-2-1	ひび割れ	51
9-2-2	段差	53
9-2-3	表面破損	55
9-2-4	角欠け	56
9-3	補修工法	57
9-3-1	シーリング工法	58
9-3-2	パッチング工法	59
9-3-3	表面処理工法	60
9-3-4	グルーピング工法・粗面処理工法	60
9-3-5	注入工法	61
9-3-6	バーステッチ工法	61
9-3-7	局部打ち換え工法	62
9-3-8	オーバーレイ工法	62
9-3-9	打換え工法	63
付録	その他の適用事例	65
付-1	停車帯	65
付-2	都市内主要道路	66
付-3	空港（エプロン）	67
付-4	コンテナヤード	68
付-5	パーキングエリア	69
付-6	アスファルト舗装の補修（耐流動性の向上）	70
コラム		
コラム1	路面種類が車両の燃料消費率に影響	13
コラム2	アスファルト舗装とのモデル化の違い	28
コラム3	連続鉄筋コンクリート舗装の横ひび割れは破損ではない	52
コラム4	米国で採用されるダイヤモンドグラインディング工法	57